

中学校技術・家庭科家庭分野における 実践的・体験的な学習活動に関する研究

－住生活の内容における題材開発と指導資料の作成を通して－

《研究協力員》

花巻市立矢沢中学校 教諭 田 口 真 弓

《補助資料目次》

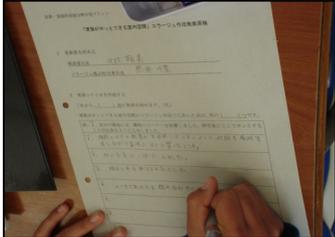
- 資料 1 技術・家庭科（家庭分野）実践的・体験的な学習活動を中心とした題材の指導資料
C衣生活・住生活と自立「安全・安心な室内環境を考えさせる題材」
- 資料 2 生徒用学習シート「コラージュ発表原稿作成シート」
- 資料 3 生徒用学習シート「セブクロス法ワークショップシート」
- 資料 4 学習状況記録シート
- 資料 5 学習状況記録シートへの記述状況

平成 24 年 2 月 14 日
岩手県立総合教育センター
科学産業教育担当
川 地 里 美

【資料1】技術家庭科（家庭分野）実践的・体験的な学習活動を中心とした題材の指導資料

＜ 題材の視点 ＞
日常生活を想定できる場面設定から課題解決的な学習が展開できる

題材名	家族が安全・安心な室内環境を考えよう	項目	C(2)「住居の機能と住まい方」 イ
題材の目標	家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り，快適な住まい方を工夫できる		
題材の指導計画	① 家族が「ホッとできる」室内環境を考えよう		2時間
	② 家族の「安全」を確保した「安心」できる快適な住まい方の工夫について考えよう		2時間
題材の評価規準	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創意する能力	生活の技能
	安全で快適な室内環境の整え方や，住まい方に関心を持ち，整え方と住まい方の課題に取り組み，住生活を豊かにしようとしている。	室内環境について課題を見付け，安全で快適な整え方や住まい方について考え，工夫している。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する知識を身に付けている。
教師の事前準備	教材・教具	<input type="checkbox"/> 前時までに紙用のはさみを持参することを連絡しておくこと <input type="checkbox"/> ブラックボード（サイズA3）各班1枚（画用紙黒またはアルバム台紙黒） <input type="checkbox"/> 住まいに関する雑誌や家具カタログや住宅広告 <input type="checkbox"/> 水のり，付せん紙（サイズ7.5×5mm，ピンク色・水色）， <input type="checkbox"/> セブクロス法ワークショップシート各班1枚【ポスタープリンターで拡大印刷】 <input checked="" type="checkbox"/> ポスタープリンターが無い場合：マス目模造紙各班1/2枚，マジック，定規	
	学習活動・地域資源活用	<input type="checkbox"/> グループ学習の形態をとるため，班編成を行っておくこと <input type="checkbox"/> 班で取り上げる住空間が重複しないように，教師が住空間を区分しておいてもよい	
指導展開例	学習活動 学習内容	板書例	指導上の留意点，教材・教具活用場面， 評価場面・評価方法
1/4時	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を振り返る 		
導入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 学習課題 家族が「ホッとできる」室内環境を考えよう </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> モデル家族を確認する コラージュで作成する住空間を選び，必要な家具や設備について意見を出す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・リビング+玄関→ 班 ・台所+ダイニング→ 班 ・風呂+洗面所+トイレ→ 班 ・小学生幼児の部屋+階段→ 班 ・祖父母の部屋+廊下→ 班 </div> <ul style="list-style-type: none"> 作業を分担し，雑誌・カタログ・住宅広告から必要な家具や設備を切り取る 家族が集まったり，共用したりする住空間について，家具の配置や団らんの場を工夫し，コラージュに表現する 		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 住居の基本的な機能，その機能を果たす住空間との関連，住まい方のルールやマナーが必要になるなどの既習事項を確認させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【生活や技術についての知識・理解】 <住居の基本的な機能（働き）> ・風雨，寒暑などの自然から保護する働き ・心身の安らぎと健康を維持する働き ・子どもが育つ基盤としての働き など <住空間> 共同生活の空間と個人生活の空間 </div> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化におけるモデル家族が安心して生活できる室内環境をコラージュで表現させる <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【日常生活の場面設定】（モデル家族の例） 70歳代祖父母，40歳代父母 子ども 中学生1人・小学生1人・幼児1人 など </div> <p>↑ 指導事項として，「幼児や高齢者など様々な年齢で構成される家族が安全で快適な生活を送れるようにすることの重要性に気づかせるように配慮する」とあるため，モデル家族を設定する場合に留意する</p> <ul style="list-style-type: none"> コラージュ作成に必要な材料（台紙，雑誌・カタログ・住宅広告）を配付し，作成の手順と留意事項を説明する 作成中に机間巡視し，モデル家族が安心して楽しく住まう室内環境になるよう考え，作成するように支援する。不完全なコラージュの中に，次の学習段階での生活課題が潜在するので適度に支援する 家族がホッとできるように工夫した点についてまとめさせる 		

指導 展開例	学習活動 学習内容 板書例	指導上の留意点, 教材・教具活用場面, 評価場面・評価方法								
2/4時	<ul style="list-style-type: none"> 前時から継続している本時の学習課題を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 各班の作成状況を確認して、完成途中の班があれば、作業時間を配当する 								
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習課題 家族が「ホッとできる」室内環境を考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> コラージュ作成に必要な材料を準備する コラージュの作成状況を確認し、作品を完成させる 	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿作成シートを配付し、コラージュが完成した班から、発表の準備に入らせる 								
	展開	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿作成シートを使って、「家族がホッとできる室内環境」の工夫点をまとめ、発表の準備・練習を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族がホッとできる室内環境」の工夫点を要点よく発表できるように、発表原稿作成シートを活用させて、発表の準備と練習をさせる 発表する内容について共同で考えさせるために、発表原稿作成シートは、一人ひとり書くことを指示する 発表者と掲示担当を決めさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">技術・家庭科（家庭分野）生徒用学習シート</p> <p style="text-align: center;">「家族がホッとできる室内環境」 コラージュ発表原稿作成シート</p> <p style="text-align: center;">____年組 番（ ）班 氏名 _____</p> <p>1 発表シナリオを作成する これから、（ ）班の発表を始めます。（礼） 家族がホッとできる室内環境のコラージュ作成で工夫した点は、次の（ ）つです。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 20px;">いち</td> <td style="width: 80%;">1、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">に</td> <td>2、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ろく</td> <td>6、</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">しち</td> <td>7、</td> </tr> </table> <p>以上で、（ ）班の発表を終わります。（礼）</p> <p>2 発表者を決める 発表者氏名 _____ コラージュ掲示担当者氏名 _____</p> </div>	いち	1、	に	2、	ろく	6、	しち
いち		1、								
に	2、									
ろく	6、									
しち	7、									
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 完成したコラージュについて、工夫した点を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 発表の礼法を確認させ、すべての班に工夫点を発表させる 発表を聴く側のマナーについても指導する すべての班の発表後に、教師から講評する 								

<p>指導 展開例</p>	<p>学習活動 学習内容</p> <p style="text-align: right;">板書例</p>	<p>指導上の留意点, 教材・教具活用場面, 評価場面・評価方法</p>
<p>3・4/4時</p>	<p>・本時の学習課題を確認する</p>	<p>・安心と安全の意味について考えさせる</p> <p>・安心と安全の相違点や, 住まいの安全を脅かしている現象, 高齢者と幼児の身体的変化や動き, 災害など, それぞれの特徴を確認させる。</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">導 入</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習課題 安心な(ホッとできる)室内環境は, 安全で快適な住まい方につながるか考えよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ホッとできる」とは</p> <p>① 安心できるということ</p> <p>② 安全も加えて考えていく</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「安心・安全」とは</p> <p>① 危険がないこと</p> <p>② けがをしないこと</p> </div>	<p>指導の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語事典や広辞苑で「安心」「安全」の意味を調べさせる ・教科書の資料から, 家庭内事故や高齢者, 幼児, 災害の特徴について確認させる ・参考資料: 実践家庭科教育大系 15p. 99 図 4-5 <住居の安全性と危険を脅かしている現象> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">住居の安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭内事故 火災 地震・台風など </div>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>	<p>・家族がホッとできる住まいのカラージュから, 危険箇所を見つける(課題の見だし)</p>	<p>・各班に付せん紙(ピンク色・水色)を配付する</p> <p>・各班の発表後, 他の班のカラージュを見て回らせ, 付せん紙のピンク色によく工夫している, または, 安全対策ができていた点を, 水色に危険と思われる, 安全対策が不安な点を, それぞれ記入させ, カラージュに貼付させる</p> <p>・安心だけでなく, 安全にも配慮した室内環境を工夫するために, 他者から多くの意見をもらうことの必要性を確認させる</p> <p>・付せん紙に誹謗中傷を書かないように注意する</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>	<p>カラージュを住まいの安全対策学習に役立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付せん紙ピンク色 →安全対策OK! ・付せん紙水色 →安全対策が不安 	<p>・セブククロス法ワークシンプで安全対策が不安な点, 危険箇所の対策を考える(課題解決)</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>		 
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>安全・安心な室内環境について考えよう</p> <p>セブククロス法で課題解決!</p> </div>	<p>・セブククロス法ワークシンプシートを各班に配付する</p> <p>・カラージュに貼付された水色の付せん紙を課題として, 重要度の大小について考えさせ, ①~⑦の順に貼らせる</p> <p>・さらに, 課題①~⑦への安全対策(方法)を, 班員で協働して考えさせ, ピンク色の付せん紙に記入させ, 取り組みやすさの順に, ワークシンプシートに貼らせる</p> <p>・できるだけたくさん課題解決の方法を考えさせ, ピンク色の付せん紙に記入させ, 7×7=49マスを埋めさせる</p> <p>・課題に対する対策について, 発表させる</p> <p>・発表したシートを教室内に掲示し, 学習の振り返りに活用させる</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>	<p>・住まいの安全対策について発表する</p>	<p>【生活や技術への関心・意欲・態度, 生活を工夫し創造する能力】</p> <p>家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り, 安心できる快適な住まい方の工夫ができる</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>	<p>・学習の振り返りとまとめをする</p>	<p>・学習状況記録シートを用いて, 家族の「安全」を確保した「安心」できる快適な住まい方について, 日常生活で気をつけていきたいこと, 工夫したいことを考え, まとめさせる</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">展 開</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">ま と め</p>	

【資料2】生徒用学習シート

「家族がホッとできる室内環境」コラージュ発表原稿作成シート

年 組 番 () 班 氏名 _____

1 発表シナリオを作成する

これから、() 班の発表を始めます。(礼)

家族がホッとできる室内環境のコラージュ作成で工夫した点は、次の () つです。

例：^{いち}1、自分の個室には、趣味のコーナーを設置しました。帰宅後にここでホッとすることが出来るように工夫しました。

^{いち}1、

^に2、

^{さん}3、

^し4、

^ご5、

^{ろく}6、

^{しち}7、

以上で、() 班の発表を終わります。(礼)

2 発表者を決める

発表者氏名 _____

コラージュ掲示担当者氏名 _____

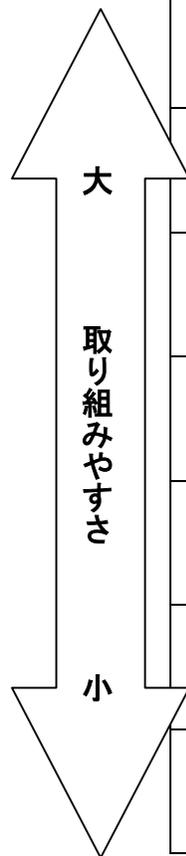
【資料3】生徒用学習シート テーマ：家族が「ホッとできる」室内環境は、安全な住まい方につながるか考えよう！

セブクロス法ワークショップシート

水色の付せんを重要度の大きい順に、課題①～⑦に並べます。次に、ピンク色の付せんに、その課題を改善する対策を考えて記入し、取り組みやすい順に並べます。

市立	中学校	年	組	班
番 氏名				
番 氏名				

大 重 要 度 小



対策	課題①	課題②	課題③	課題④	課題⑤	課題⑥	課題⑦
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

【資料4】技術・家庭科(家庭分野)学習状況記録シート

立 中学校 年 組 番 (班) 氏名

この記録シートは家庭分野住生活の学習状況を把握するためのものです。それぞれの項目について、具体的に記入してください。(この記録シートに記入されたことは学習成績に関係しません。)

皆さんの記入したことをコピーして研究に使用しますので、文字は濃くはっきりと、文章は「何を(主語)、どのように、どうしたか」というように具体的に記入をお願いします。

- 1 「コラージュ作成」の学習で、家族が「ホッとできる」室内環境を工夫するとき、どんなことを考えましたか。【モデル家族：70歳代祖父母，40歳代父母，子ども(中学生・小学生・幼児各1人)】

- 2 高齢者や幼児が同居する家族がホッとできる(安心な)室内環境を考えて作成したコラージュは、快適で安全な住まい方に直接結びついていましたか。あなたが発見した課題を記入してください。(水色の付せんに書いたことでも可)

3 セブクロス法シートを用いて、高齢者や幼児にとって安全で快適な室内環境を整えるために、あなたはどんな対策（方法）を考えましたか。（ピンクの付せんに書いたことでも可）

4 住まいの安全・安心「コラージュ学習」を通して、家族の「安全」を確保した「安心」できる快適な住まい方について、日常生活で気をつけていきたいこと、工夫したいことをまとめてください。

<p>【日常生活で気をつけていきたいこと】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	<p>【教師所見】</p>
<p>【日常生活で工夫したいこと】</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	<p>【教師の評価】</p> <p>A B C</p> <p><input type="checkbox"/> 記入もれあり，再提出</p>

* 欄には記入しないでください。

ご協力、ありがとうございました。

【資料5】学習状況記録シートへの記述状況

通し番	1 安心な室内環境の工夫の記述【思考力】				2 安心＝安全につなげる課題発見【判断力】				3 高齢者や幼児が安全に住まう室内環境を整えるための対策【思考力】【判断力】【表現力(記述)】				4 家族の「安全」を確保した「安心できる快適な住まい方について【実生活での実践意欲】	
													(1) 日常生活で気をつけていきたいこと	(2) 日常生活で工夫したいこと
1	家族みんなが一つの場所に集まることができる				戸棚が多くて地震の際、物が落ちてきそう				すべり止めを付ける	家具の位置を工夫する			妹を危険な目にあわせないようにする	すべり止めをふるや階段に付ける
2	ペットをいっぱい入れた				ペットが動くと危険	(災害時は)ペットが(動き回り)危険			ペットなどを固定する				危険なことを考えて(安全に)行動したいと思います	危ない物は、固定して危険から避けたいと思う
3	脱衣所を広くしたところ	洗濯物を(洗濯機の)すぐに、その場で干せるようにしたところ			物が落ちてきたら危険だ				落ちてきたら危険な物は、かごの中に入れ奥にしまう				コード(コンセント)で、つまづかないようにコードを短くするようにする。段差に気をつけていきたい。	人が歩く場所に、あまり物を置かないようにしている
4	日当たりをよくするために、大きい窓をつけた	落ち着いた色で統一した	家族が集まる場として楽しめるよう、ゲーム機器を付けてみた		物の落下が危ない	コードが危ない			壁に(家具などを)固定する	飛散を防ぐシートを(窓ガラスに)貼る			高い所には、できるだけ物を置かない	出来るだけ物を固定する。今回学習したことを生活に活かしていきたい
5	脱衣所を広くしたところ	洗濯物を(洗濯機の)すぐに、その場で干せるようにしたところ			机の角が尖っている	風呂場に手すりがない			滑り止めのマットなどを敷く				家で祖父母に危険な場所などはないか、気を付けていきたい	家の風呂場は滑りやすいので、滑り止めのマットなどを使いたい
6	(大きな窓で)日光を確保した	全体的に気を使い、落ち着くことができるようにした	ゆっくりできる		ガラスが割れる	子どもには(椅子が?)高すぎる			滑り止めを貼る				妹を危険から守る	(家具の)角などにゴムを貼る
7	祖父母の部屋の前に手すりをつけたところ	緑色や茶色にして、和風にした	お年寄り(高齢者)がホッとできるように置いた	(収納を)押し入れにしたところ	棚が多いと災害時、物が落ちやすい				倒れやすいものを割れやすいものの近くに置かない	倒れやすいものを固定しておく			自分の身の周りがあるものを、もう一度見直して、本当に安心してそこに置いていいか確かめていきたい	これから倒れやすいものや割れやすいものを、しっかり固定して、割れやすいものの近くに置かないようにしたい
8	どんな場所かによって、色が変わるようにした。(例)子ども部屋:明るい色、祖母の部屋:緑・茶色などの和風な色	ペットがいることによって和む(ようにした)			家具の上に置いてある小物が落下してくること	(災害時は)ペットが(動き回り)危ない			家具の上にある小物を整理する	ペットをしつけする			普段から身の周りにありえる(起こりうる)危険を考えていきたい	危険なことを、いかに楽に金もかからないように解決するようにする
9	その人(住む人)の好みに合わせてカラージュ(を作成)した				畳のすき間で転んでしまうかもしれない				粘着シートを付ける	少し高めの座椅子にする			段差で転ばないように気を付ける	地震が起きてテレビなどが倒れないように、粘着シートを貼る
10	落ち着いた色で統一した	小物を置いて生活感を出した	日当たりを良くするため、大きい窓を付けた	家族で楽しめるようにゲームを置いた	小物が多いので減らす	段差をなるべく減らす	テレビが落ちると危ない	ガラスが割れると危ない	物の数を減らす	壁に(家具などを)固定する	買いかえる	ストッパーを付ける	落下物の下にはあまり居ないようにする	いらぬ物は、なるべく減らすようにする
11	子ども部屋だったので、おもちゃを入れたらいいのではという意見を出した。男女別で好みがあると思い、男の子の部屋、女の子の部屋にそれぞれ置きました	明るい色(パステルカラー)を取り入れ、子どもらしい部屋にした			子ども部屋をみると床にものが多かったような気がする。このままでは子どもが走り回るのにつまづいてしまうのではないかと考えた	台所とダイニングでは家電製品や棚に物が多く危険だと感じた			ペットが動くと危ないという意見が出て、教科書で見た滑り止めのシートを思い出し、取り入れるようにした	ペットが子ども部屋にいと危ないと感じ、リード・かごを用意するなど、できるだけ他の部屋に移動しなくてもよい方法			棚の上にものをたくさん載せていて、地震のとき大変だったので、棚の上にはできるだけ物を置かない。電化製品を使わないときはコードを抜く	日常生活でのテーブルの角が危険であるので、布・ゴムなどで工夫し、安全に使えるようにしたい
12	脱衣所を広くした	洗濯物を(洗濯機の)すぐに、その場で干せるようにしたところ			落下物があって危険(物が落ちていて危険)	机の角が尖っている所	浴槽が高くて老人、子どもには大変		(浴室に)台を置く	手すりをつける	滑り止めのマットを敷く	使わないときには(台を)しまう	段差で転ばないようにする。ものにつまづかないようにする	落下しそうな物はなるべく減らす。使わないときはしまっておく
13	(子ども部屋は)男の子と女の子の空間を分け、柄のある家具を取り入れた	ペットを(部屋に)入れ、子どもたちに責任感を育てるようにした			棚がたくさんあると、倒れやすく危険	物を固定しないと落ちてきそう	家具の角が尖っていると危ない	(室内での)ペットの飼育方	落ちそうな物をしっかり固定する	床にあるおもちゃを片付ける			物をいろいろ置いていて、落ちそうな所があるのでこまめに片付けをする	収納スペースをうまく使い、きれいにする
14	脱衣場を普通よりも広くして、洗濯物も干せるようにしたこと	お風呂(浴室)を広くしたこと			物を上に置きすぎていると落ちてきたときに大変				お風呂場に台を置く				階段の段差やマットなどに足を引っかけて転ばないように、安全に気を付けて生活していきたい	テレビやたんすなどが落ちてこないように固定するなど工夫をしていきたい
15	全体的に木を使って落ち着いた空間にした	親子でゆっくりできる空間にした	水回りにごみ箱を置いて、すぐに使えるようにした	日当たりを良くするために大きい窓を付けた	棚が多すぎて危険だった	コンセントが多すぎて危険だった	物が多すぎて逃げ道が狭かった		棚を1つにして、物を少なくする	マグネットコンセントを使う。(電化製品を使わないときは)コンセントを抜いておく	必要最低限の物しか置かない		コンセントを抜いておく。物を高い所に置かない	段差をなくす。滑り止めシートを置く

16	祖父母の部屋には畳を敷き、「ホッ」とできるようにした	落ち着いて生活できるように、色なども合わせた			段差があるのが危険だと思った	高い所に置いてある物が倒れたら(落下したら)大変			物が倒れないように固定する	ガラスが割れないように(飛散)防止シートを貼る			常にみんなで生活する場をきれいにし、事故のないようにする	段差があるので、台をつけて登りやすくする
17	お年寄り(高齢者)が「ホッ」とできるように畳にしてみたり、手すりをつけたりして安全に暮らせるようにした				段差があつて危険			自分たちが気を付けてあげられる	倒れやすい物を近くに置かない	粘着シートなどを付けることとして、安全に暮らせるような工夫をしていきたい			まず自分たちで気を付けて、安全な暮らしができるようにしたい	物を減らしたり、物が倒れないように、粘着シートなどをつけることとして、安全に暮らせるような工夫をしていきたい
18	脱衣所を広くした	洗濯物を、その場に干せるようにした所			机の角が危険	落下物があつて危険	お風呂に手すりがないので危険		落ちてきて危険な物は、かごなどに入れて、奥に置く	お風呂に滑り止めマットを敷く			普段の日常生活でけがをしないように安心に生活する	自分一人だけでなく、家族全員がくつろげるような家具の配置や色などを考える
19	落ち着いた色で統一したところ	小物を置いて生活感を出した	実際にあつた場合の使いやすさを考えた	日当たりを良くするために大きめの窓を付けた	段差が危ない	落下物が危ない		高い所には物を置かない。また、物を収納する	階段や浴室などには手すりを付ける				物を散らかさない。危ない物は安全な所にしまう	収納場所を決める
20	趣味が片寄らないように、最初に落ち着いた色テーマにカラーージュを作成した	使いやすさを考えたこと	小物などで生活感を出した		玄関に倒れやすい家具を置くと、緊急時に逃げられなくなる	高い所に小物を置くと、落下して危険だということ		机の角などにカバーを付けること	必要以上に段差をつくらないこと				物を床に置かないようにしていくことや、カーペットなどはめくれないように止めるなどした危険を防いでいきたい	整理しやすいよう収納を充実させる
21	全体的に木を使って落ち着いた空間にした	日当たりを良くするために、大きい窓を付けた	親子でゆっくりできる空間		玄関のとなりで大きな下駄箱があると倒れたときに危ない			扉の開放、留め具を付ける	ガラス飛散(防止)フィルムを貼る	L型金具で固定する			いろいろな所をしっかりと見て、危ない所を見つけたら、直すようにする	危ない所がなく、安全な家にしていきたい
22	家具などの色を落ち着いた色にして統一させた	小物を置いて生活感を出した	家具などを実際にあつた場合、使いやすさを考えた	大きめの窓を付けて、日当たりを良くした	玄関に置いてある下駄箱が倒れてきたら危険	テレビが倒れてきたら危ない	小物が落ちてくる	テレビの足を固定する ストッパーを貼る	小物を置かないようにする	下駄箱をなくす靴を少なくして、コンパクトにする			物事が損傷したり、危害を受けたりしないようにする事	家具の置く場所や、どうすれば安心・安全な室内空間になるかを考えて、整理すること
23	ペットをいっぱい取り入れた所	明るい色や柄を取り入れたところ	子どもらしいおもちゃを入れたところ	男の子と女の子の空間を、それぞれ分けたところ	ペットが危険	ペットが動いて危険	おもちゃを床に置く危険	物が落下しやすそう	角に布やゴムを付ける	やわらかい落下しても安全なものだけ(棚の上)に置く	固定する	(室内にペットを居させる場合には)リードや小屋を作る	まだ、余震が続いているので、角やすべりやすい所など、逃げやすいようにしていきたい。また、「滑りやすい所」は、ゴムのシートのようなものを置き、住みやすい家にしていきたいです	「角」は削ったり、布やゴムを付けて、頭をぶつけても大丈夫のようにしたい。また、「滑りやすい所」は、ゴムのシートのようなものを置き、住みやすい家にしていきたいです
24	全体的に木を使って落ち着いた空間にした	親子でゆっくりできる空間にした	水回りにごみ箱を置いて、すぐに見えるようにした	日当たりを良くするために、大きい窓を付けた	ガラスが割れる(と飛散して危ない)	子どもに高すぎる	家具が多すぎて、地震の時、逃げることができない	滑り止めを貼る	家具の位置を変える マグネット式のコード・コンセント(に変える)	棚を1つにする。必要最低限の物を置かない	L型金具などで固定する		記述なし	角にゴムを貼って、危険から守る
25	ペットを子ども部屋に入れることで、子どもが楽しく、そして動物を育てる責任感を強くさせることを考えた	明るい色を取り入れ、きれいな空間で子どもが安心して楽しく過ごせるようにしました			大抵どの班も、段差があつて危険という意見が多かつたので、断裁に気を付けて物を配置すればいいと思います	物を収納する戸棚などが災害時の時、倒れて危険というのが多かつた		ペットはアレルギーの原因となるものを持っているので、こまめにブラッシングさせる案を考えました	高い所の上に物があつて、危ないという意見には、下に物を置く意見を出しました				私は祖父母が両方とも居る家庭なので、小さな段差や階段は確かに危険だと思った。いつも自分で見て、危険だと判断したら、すぐに行動できるようにしたい。また、家電や物の置き方を考えたい	家電を低い位置に置いたり、戸棚を固定して物が落ちないようにしたい。また、コードは引っかかったらすぐ外れるものにし、段差はあまり直せないで、私が自分で注意して生活したい
26	全体的に木を使って落ち着いた空間にした	親子でゆっくりできる空間にした	水回りにごみ箱を置いて、すぐに見えるようにした	日当たりを良くするために、大きい窓を付けた	大きな下駄箱が地震で倒れて逃げる事ができなくなる	棚が多くて、倒れたら危険		L型金具などを付ける	できるだけ必要なものだけにする				机の角や段差などを気を付けて歩く	段差などをできるだけなくして、安心して過ごせるようにする
27	祖父母は脚力が低下していると思うので、部屋の前に手すりを付けたこと	落ち着いて生活できるように色や柄について考えて作ったこと			物が落下しやすい	段差が危険	椅子や風呂場など高さがあると、子どもは危ない	まず、自分たちが気を付けること	物を減らす	最終的には買い換える			自分だけでなく周りに気を配ることで、危険な所などが見付かってくると思うので、まず、自分が気を付けていきたい	今日でた意見(課題)が家にもあるかもしれないので、発見できるようにしたい。何か(危険な所に)目印などをして工夫したい
28	脱衣所を広くしたところ	洗濯物をすぐに干せるようにしたところ			地震が起きたら、前後に揺れて危ない			台を使わないときにはしまっておく					使っていないコンセントは、完全に抜いておくこと	階段に手すりを付けたい